

ハイ！ ハイ！ お母さんも にっこり。



しでがの通信
 第 96 号
 羽津小 P・T・A
 編集発行
 発行所 羽津小学校

として保存して下さい

目次

PTA活動本来の使命を	1
本校教育のめざすもの	2
しでがの(民話シリーズ 六)	3
先生紹介	4
新入学によせて	8
あなたにスポット	9
みどりの広場	10

PTA活動本来の使命を!!

PTA会長 広瀬達士



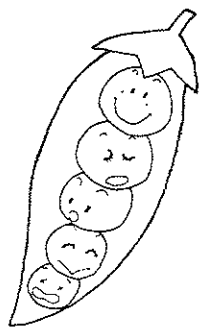
この度皆様
 の御推挙によ
 り大任をお引
 受けする事に
 なりました。
 本年度PTA

おられます。それには、会員皆様の
 積極的参加と、校長、教頭先生を
 はじめ、諸先生方の絶大なる御支
 援を賜り、よりよい教育環境の充
 実をめざして行きたく思っており
 ます。
 最後に会員皆様方の御指導、御
 協力をお願いしまして御挨拶と致
 します。

A活動の方針に向けて地区、学校、
 家庭と充実したPTA活動本来の
 使命を自覚する為に、一年間微力
 なから精一杯努力していく覚悟で
 おります。

役員だけのPTAでなく、会員
 皆様の御協力を節にお願いする次
 第でございます。

一年間各専門部の行事が計画さ
 れております。一人でも多くの会
 員皆様が集まって、楽しく、PTA
 A行事を過ごして頂きたく思っ



本校教育のめざすもの



学校長 佐藤 稔

「知、徳、体の調和のとれた人間性豊かな子供を育てる。」これは本校の教育方針です。学校ではすべての教育活動がこの目標に向って展開されているのです。具体的には体験学習を重視します。即ち、奉仕活動、自然を愛する活動を通して豊かな心を育てたいと考えています。その場として学級園の活用、一鉢栽培、委員会活動をあてます。学級園では理科の教材とも関連させ、観察、水やり、草取りの作業などを通して働く意欲を育てたい。委員会は栽培、図書、放送など10の委員会がありますが、当番制で毎日交代して活動しています。そして進んで働く子供を育てたい。

二つ目は子供中心の学習の取り組みを重視します。子供が調べる、話し合う、実験する活動ができるだけ取り入れ、よく考え進んで物事を究める子供をめざしたい。

三つ目は体力づくりの取り組みを重視します。心身共に健康な子供

の育成は現代の課題です。本来これから成長していく子供は健康であるはずですが、現実には心も体も弱くなっていることが指摘されています。兄弟が少ない、物が豊かであることから甘やかしが主な原因と言われています。学校は子供を育てるセンターとして体を動かすことに力を注ぎたい。今年から3年間文部省指定の体力づくり推進校となりました。一人一人が楽しんで取り組む体力づくりをめざして本年度は個々に応じた体育学習を充実させます。具体的には体育環境の整備を図りながら、体育カード、進級表を作り一人一人にめあてを持たせながらできた喜びを与えたい。また、体力測定室を設け体力診断を自由に測定させると共に肥満児対策としてヘルスマスター、腹筋台なども設置したいと考えています。

四つ目は授業の中に地域教材をできるだけ取り入れられます。郷土資料室を完備させ、社会科、理科の学習に活用したいと考えています。また、たてわり活動として緑の広場、クラブ活動を重視して子供



人事往来

○退職

講師 長島 弥生
給食 水越万里子

○転出

教諭 平田 昂

教諭 古川 順子

講師 加藤さわ子

栄養 井村 智寿

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

給食 山川みさ代

民話シリーズ(六)

しでがの

教頭 池田 昭



節分の豆まきで親しまれている垂坂の観音寺は、千二百五十年ほど前に慈恵大

師(元三大師)が建立したものであることはよく知られています。当時の観音寺は、茂福に総門、南鵬に中門、東阿倉川に南門があったり、現在の観音寺は奥の院にあり、その近辺に五十四の坊や院が散在していたといえますから、広大な寺院として栄えたことがしのばれます。現在の羽津小学校、羽津北小学校、大谷台小学校の校区が観音寺の山内だったことになるのです。元三大師がこの地を選んで寺院を建立したのも、このあたりが垂坂山を中心に大きな台地であったことが大きな理由かとも思われます。

古地図や土地台帳にも残されている地名では、垂坂山は垂坂山、これから東へ広がる裾野を志祢我



羽津小学校PTA広報紙が「し

野・志祢野といわれています。志祢神社のある丘を志祢崎と呼び、ここが海岸に出た岬であった、東へのびた遠浅の浜を志祢浦と記されています。

しでさか山の「垂」は、神前に供える玉串または注連縄などに垂れ下げる紙で作られたものことで清らかな意味をもっています。また、「しでの木」という木があります。この木は早春、葉に先だつて花穂を垂らすのですが、これが四手に広がっていることからこの名がつけられたと言われています。「しでが野」がこれに似て四方に大きく広がった台地であったことから名づけられたというのも頷けます。

「しでがの」というのは、前述の「志野」にちなんで名づけられたものでしょうが、実をいうと、この名まえば昭和三十年三月、校歌の制定にあたって地名などを確認した時に、垂坂山はタルサカ山でなく歴史的にはシデサカ山であることや、このあたりをシデガノと呼ばれていたことが判明したので校歌にも『しでさか山の松の色』というたわわっているのです。その折、先生たちが校歌制定を記念して編集した児童文集の名を「しでがの」としたのが刊行物に使われた始まりなのです。児童文集「しでがの」は、年一回各学級から選出した優秀作品を編集しガリ版刷りで発行したのですが、何号まで続いたかは定かではありません。

それがいつからかPTA広報紙の名称になって近く一〇〇号が発行されるといっても因縁浅からぬものがあるようです。

また、児童文集「しでがの」1号の表紙絵の題名字形は今と同じでしたが、表紙は万古焼の茶碗が描かれていました。PTA広報紙では「しでがの」の字形はそのままで、まわりが陶器片で囲まれてあるのは、おもしろい変り方です。ともあれ、「しでがの」が数々の歴史をすしりと背にした貴重な名称であることに私たちは誇りをもちたいものです。



「しでさか山」は「たるさか山」に、「志祢野」は「志祢我野」として土地台帳に残されていますし、「志祢崎」のあとには「志祢社」があつて羽津地区の人々の安らぎの森になっていますが、なぜか「志 浦」は残っていません。これは、昭和初期に海水浴場を開設することになったのですが、「志祢」が「死出」と音の聞こえが悪いために、遠浅で、はるかむこうまでかすんで見える美しい浜だということから「霞が浦」と命名されたといわれています。

鳥が大きな「羽」を広げたように、おだやかな台地をもった美しい海岸(津)に栄えてきた私たちの故郷が『羽津』の名で千三百年も昔から今に在るのは、うれしかぎりではありませんか。

先生紹介



一学年



三浦先生、村上先生、羽田先生、伊藤先生

一組 伊藤静子

若葉の好季節となりました。一年に入学した子どもたちは、ちょうど一ヶ月たち、学校生活にも慣れて、連休での楽しかったできごとを話してくれました。

小学校の入学は成長過程の第一歩です。全部の子どもたちが、心身ともにたくましく成長するよう

に願いたいものです。

o きまり正しくできる子

o 運動に励んだ子

など一年生なりに身につけたものです。

二組 羽田比登美

とても静かで緑に囲まれた学校校歌そのものの児童たち、とても楽しい毎日をおくらせていただいております。

今後とも地域とともに、ますますの発展を心より希望いたしております。

三組 村上智子

本校は、田舎でもなく都会でもなく、学習環境にはとても恵まれた良い学校だと思えます。

そんな中で子供達をやさしく、のびのびと育てていければと思っています。

養護教諭 三浦兼子

桜、松、楓と立派な樹木に恵まれ素晴らしい環境だと思っております。

二学年



鈴木先生、荒木先生、市川先生

一組 市川さだ

緑の松と四季おりおりにすばらしい眺めを見せてくれる桜と楓の老木、この伝統ある羽津小学校に勤務して五年目を迎えました。

羽津の子供達ほどの子も明るく素直で元気に満ち溢れています。この明るさ、この素直さをいつまでも失わずどんなことにもくじけないたくましさ、最後までがんばり抜くねばり強さを身につけて欲しいと希う昨今です。

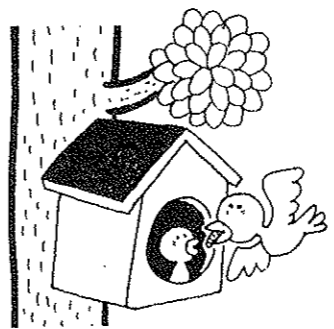
二組 荒木恭子

「お早うございます。」と元気な声ではじまる明るい学校です。一生懸命がんばる子、不思議だと感じ、調べたり、人にたずねたりできる子に伸びていってほしいと思います。

三組 鈴木英子

初めて二年生を担任することになりました。何ごとにも、力いっぱいがんばる子どもになってほしいと思います。

私も一生けん命やりますので、よろしくご指導下さい。



(バードウィーク 5月10日~16日)

三学年



五十棲先生、青先生、安田先生

一組 安田光男

本校にお世話になって、早、五年が過ぎてしまいました。とても環境に恵まれた伝統のある学校だと思えます。校庭には、春は桜、秋は楓、そして老松と、また、地域をとりまく環境も、落ち着きがあり、すばらしいと思えます。

さて、子供達に目を向けてみますと、年々、辛抱のできないう子、自分本位の子、感謝の心の足りない子が増えてきたことが気掛かりです。学力、教科という狭い視野で、子供を見つめるのではなく、「人」としてどのように育てる

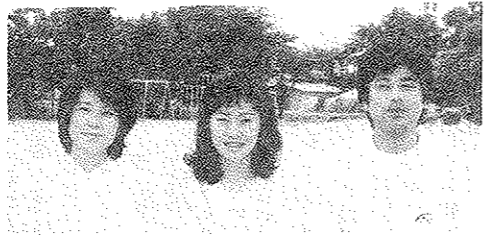
二組 青ひとみ

小学五年の時、夏休みの研究で調べさせていただいた思い出深い「万古焼」の町にあつて、環境にも、設備にも恵まれたすばらしい学校だと思えます。一日も早く、羽津の子どもたちと一体となれるように、頑張りたいと思えます。

三組 五十棲孝子

羽津小学校に着任してから、時間もち、初めの感想といわれてもぼんやりしてしまい、何を言えよばよいのやら困ってしまふ。ただ、今でもとてもステキに思っているのが校庭の桜である。一番好きな場所が東側の桜のトネルだと思ふ。自分で考え、自分の力で解決していける子供たちに育ってほしいと思っております。

四学年



岸本先生、市川先生、谷口先生

一組 岸本美智子

校庭に根をおろした桜は、長い年月の間、子供の姿を見つづけてきているはずだ。

「学校の伝統を育てる」のは、この桜に「教育を問う」ということなのでしょう。だまって語らない木々のかわりは誰ができるのでしょうか。それは、桜に見守られて育った地域の人達だと思えます。子供を育てるといふことで、父母と理解し合った教育をしようと思いつつ、桜の新緑を見えています。

二組 市川ゆかり

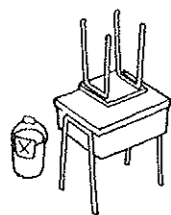
「おはよう ございます。」さわやかな子供たちのあいさつとともに、楽しい予感で始まった、羽津小学校。

四年生の元気を子供たちに負けないように、若さ100%でがんばりたいとはりきっています。子供の素直な心に自分も素直に答えることをモットーに！

三組 谷口快爾

本校に赴任して早四年。今年で五年目を迎えました。この四年間子供達と楽しい思い出がたくさんできました。また、地区の人々とも数多くお知り合いになれ、とても嬉しく思っています。

今年から羽津小学校は「体力づくり」の推進校となりました。私はこの機会を通して、児童や地区の人々により、一層スポーツの良さを、知ってもらえるよう努力していきたいと思えます。



今年から、鈴木(真)先生と共にさくら組の担任をすることになりました。純心な子どもたちが、その長所を伸ばしつつ、社会人へと成長していく一助ができればと思います。初めて、この学校に勤務した頃、さわやかに感じられた、松葉をわたるそよ風にも、いつしか深みのある色調が感じられるようになりました。この町の伝統が少しは、わかりかけて来たのかも知れません。今年も一年、がんばりたく思います。

黒田義彦



鈴木先生、時村さん、橋川先生、黒田先生 (用務)

さくら



藤田先生、白井先生、安藤先生、脇谷先生 (音楽) (家庭) (図工) (事務)

専科

新採で、羽津小にきて二年目。昨年に引き続き、無邪気で明るいさくら組の子どもたちに囲まれ、楽しい毎日を送っています。二人の新しい子供たちと、先生を迎え9人とにぎやかに、力強い限りです。他クラスとの交流の場を大切にすると共に、子供たちの個性を生かし、特色あるクラス作りを励み、より深く、生きぬく力を感じる心を育てられるよう努力したいと思っています。

鈴木真理子

最初学校へ来た時、どこから入っていいのかと思ったり、門が多い学校だと思いました。阿倉川駅から十分ほど歩いて登校しますが、登校中に子供たちから挨拶してもらいますので、気分がとても良いです。専科で家庭を受けもっています。名前がおぼえきれないので残念に思っています。

川越北小学校から転動してきました。専科で家庭を受けもっています。名前がおぼえきれないので残念に思っています。

音楽 藤田千香子 十三年間の中学校教員生活に終止符をうち、はじめての小学校がこの羽津。キラキラと活発な子どもたちの声に元気づけられ、またたく間に四年が過ぎてしまいました。一人でも多くの子どもに、音楽を通して、豊かな心が育ってほしいと願っています。

家庭 白井和代



白石さん、伊藤さん、佐藤さん、荒木さん

交通少年団 入団式について

小井克一

羽津小学校交通少年団の入団式が五月八日(水)に羽津小学校体育館にて行われました。四年生から六年生の一四九名の新しい交通少年団がこれから一年間、みんなの交通安全を願って事故防止を目指していきます。

- 一、あるく時は、かならず右側通行を守ります。
- 二、道路では遊びません。
- 三、道路への飛び出しはしません。
- 四、自転車に乗る時は、左側通行を守ります。
- 五、下級生の指導にも努力します。

五学年



坂野先生、田中先生、杉田先生、中山先生

知識偏重教育に挑戦！なんて言うけど、ちょっとオーバーで過激ですが、要は、今年一年「心の教育」を大切にしたいと思っています。五年生は、基礎学力の定着でも大切な学年です。ですから、もちろんそちらの方もしっかりとやらなければいけません。しかし「勉強さえできれば、あとは……」なんて考える子供になつたらと思うと、「ゾツ」とします。掃除、当番、委員会、等、心を込めた仕事のできる子供を育てていきたいと思っています。

二組 田中朋子

この学校に来て二年目、ようやく学校の様子も 分かりかけてきました。初めてこの学校へ来た時にまず思ったことは、大変スポーツの盛んな学校だということ。特に野球やサッカーは、本格的で子供達の動きの良さに驚かされました。また、職員の先輩方はとても若く明るく、自由な雰囲気の中で、知らず知らずのうちに溶け込める気がします。新米ではありますが、若さと、体力で頑張りますので、よろしく御指導願います。

好きなTV ドキュメント、プロ野球、ふるそいのりんご達

家族構成 父(公務員)母(公務員) 弟(会社社員)

四組 中山佳之

久居の田舎から通っている私にとって、羽津小は都会の学校という感じがします。子ども達を見ても、都会っ子そのもので、少しも、ものおせせず挨拶をしてくれますし、気軽に話しかけてくれます。

明るさの中で礼儀正しさを身につけ、やさしさのある子供達に育つていくように努力したいと思っています。

六学年



鈴木先生、市川先生、立松先生

物の豊富な時代に生きている子供たちに、豊かな心も育てたいと思っています。そのためにも広い学校園も欲しいです。汗を流して物を作る辛さ、できた時のうれしさなど体験させてやりたいと思います。

二組 市川淳子

昨年、久しぶりに高学年を担任することになり、低学年とはちがった、子供たちの活発さ、自発性にふれ、頼もしさを感じながら一年を過ごしました。今年も引き続き高学年を担任するに当たり、「責任ある行動」がとれる、「思いやりの心」のある子供に育ってほしいと願っています。

一組 立松和紘

No	町名	児童数			町担任	
		世帯数()	男	女		
1	富士・金場	11	6	8	14	田中
2	羽津第1	18	12	7	19	中山
3	羽津第2	15	18	7	20	谷口
4	羽津第3	21	12	14	26	安藤
5	羽津中	31	21	20	41	坂野
6	城山	30	24	14	38	杉田・三浦
7	羽津山東	25	16	18	34	安田・青
8	羽津山西	31	22	25	47	羽田
9	大宮東	15	10	12	22	五十構

10	大宮南	37	26	25	51	伊藤(し) 鈴木(え)
11	大宮西	45	26	42	68	市川(さ) 藤田
12	大宮北	20	15	18	28	村上
13	別名1	56	45	46	91	岸本・市川
14	別名2	41	34	28	62	立松・白井
15	山手	46	29	42	71	鈴木カ・荒木
16	緑ヶ丘	27	22	15	37	市川ジ
17	区外	5	4	1	5	黒田・鈴木マ
計		469	387	389	676	

しいと願っています。

三組 鈴木和夫

「楽しい学級」になるよう、何事にも自分から進んで発表でき、行動できる、明るく元気な子どもを育てたいと思っています。

新入学によせて

親子をつなぐ校歌

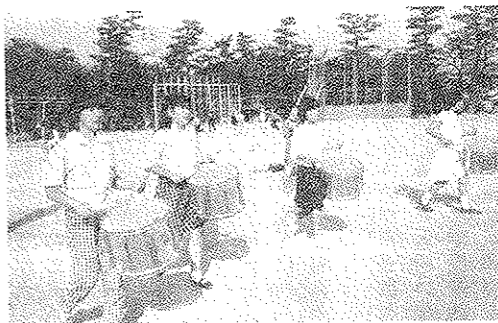
羽津 山本庸二郎

「朝日輝く伊勢の海」四十才に
 近くなつた今でも酒が入るとつい
 口をついて出る一節です。初めて
 この歌を耳にしたのは小学校に入
 る一、二年前。今から思うと羽津
 小学校の校歌として制定された時
 に近所の小学生が歌っているのを
 聞いた時です。以来30有余年。こ
 の歌を口ずさむと楽しかった小学
 生時代が昨日の事の様に浮かんで
 きます。恩師、友人、環境に恵ま
 れ伸び伸びと自由に過ごした六年
 間は私の人間形成の極めて重要な
 位置を占めていたと思います。
 今度は長男が入学させて頂きま
 した。入学式の日、「お父さんが
 よく歌っている歌を、学校でお兄
 さん達が歌っていたよ」と嬉しそ
 うに報告していました。卒業して
 からも誇りを持って校歌を歌える
 ような六年間を過ごして欲しいと
 願っている今日この頃です。

たどる道

山手 森田 健

朝、元気で「いってきます」と
 言って重そうに、ランドセルを背
 負って歩いて行くわが子、その顔
 は、とても明るく希望に胸ふくら
 ませている。初めての日から四、
 五日は、手をつないで登校場所ま
 でついて行き、不安気な子供の後
 姿が小さくなるまで見送っていま
 したが、今は「一人で行けるから
 」と言って玄関先で「いってきます
 」と言って出かけて行く姿を見て、
 少しずつ成長していくことの喜び
 を感じます。たとえ小さきことで
 も良いことをした時は大いに誇め、
 悪いことをした時は上手に叱るこ
 との出来る親に、子供の気持ちに
 なって、考えてあげられる親に左
 りよう努めていきたい。
 子供が親の立場をわかるはずが
 ないのです。でも親は子供の気持
 をわかってやれるはずなのです。
 それは、自分がたどってきた道
 だからです。



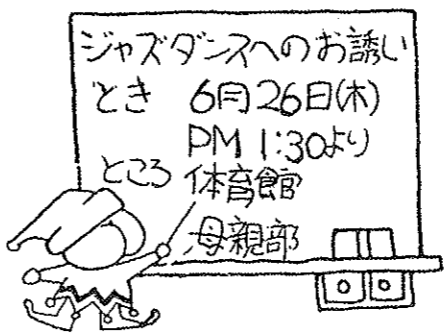
音楽部 練習風景

クラブ紹介

- 読書 伊藤し
- 音楽 藤田、鈴木え
- 折り紙 岸本
- オセロ 羽田
- 手芸 五十枝、伊藤け
- 将棋 鈴木か
- けん玉 田中と
- 郷土 立松
- かるた 市川じ
- バトン 安藤、市川ゆ
- バスケット 安田
- バドミントン 中山
- ソフト 杉田、池田
- 陸上 谷口
- テニス 村上、佐藤

六十年 度 PTA活動方針

- 一、豊かな人間性を身につけた子
 供の健全育成に努める。
 PTA本来の使命を自覚し、
 PTA活動の改善見直し、充実
 を図りながら、地域に根ざした
 活動を推進し次代を担う子供た
 ちの健全育成と幸福の実現に務
 める。
- 二、よりよい教育環境の充実を、
 PTA活動・地域活動・研修事
 業を通じ、家庭教育の振興と生
 涯教育の充実の観点に立ち、全
 員参加・全員意識の向上に務め
 る。



あなたにスポット

今年もいろいろな計画があります。

皆様こそご二ご参加を

安全部

- 一、六月上旬 交通安全教室
- 一、七月中旬 自転車の点検
 (各家庭で点検)
- 一、七・八月 プールの監視
 (夏休み)(各町別に行う)
- 一、随時 交通安全団講習
 危険箇所の点検

補導部

- 一、四月十八日 補導部会
 年間行事計画の作成
- 一、五月十一日～十二日 万古祭
 りの補導
- 一、七月十七日 志氏神社夏祭り
 の補導
- 一、七月二十一日～ 夏休み地区
 補導
- 一、八月一日 (小中青少年協合同
 地区全体の補導)
- 一、八月十四日～十六日 盆踊り
 の補導(羽津小)
- 一、十月十七日 志 神社秋祭り
 の補導
- 一、十二月二十五日～ 冬休み地
 区補導
- 一、一月七日 (小中青少年協合同
 地区全体の補導)
- 一、その他市PTA環境部及び羽津地
 区青少年協補導に関する行事は
 随時参加

環境整備部

- 一、校内整備 五月予定
- 一、花壇内の円筒土管の移設工事
- 一、焼却炉の灰処理 年四回
- 一、ドラム吊込用チェーンブロック
 の鉄塔工事、ドラム吊金具工
 事 五月予定
- 一、樹木の消毒 六月予定
- 一、PTA全員奉仕作業 八月予定

広報部

- 一、五月十九日 花壇づくり
 この汗が、どんな花に……。
- 一、〃での〃発行
- 一、第九十六号 年度はじめに当って
 学校及びPTA活動
 紹介
- 一、第九十七号 夏休み前の特集号
- 一、第九十八号 二期期の学校及びP
 T Aの行事紹介
- 一、第九十九号 冬休み前の特集号
- 一、第一百号 卒業特集号
- 一、その他随時

福祉保健部

- 一、親善ソフトボール大会
 五月二十五日
- 一、救急実技講習会 七月
- 一、運動会への協力 九月
- 一、社会見学 十月

学年学級部

- 一、給食試食会(一年生父兄対象)
 五月二十七日(月) 米食
- 一、学級参観及び懇談会
 六月・二月に実施
- 一、両親学級及び講演会
 十一月に予定
- 一、学年学級行事
 (各学年で日時を決定します)

母親部

- 一、五月十八日(土) 午前中
 第一回民話教室
- 一、六月・ジャズダンス講習会
- 一、七月・陶芸教室
- 一、九月・手芸教室
- 一、十月・第二回民話教室
- 一、十二月上旬 料理教室

みどりの広場

年間計画 昭和60年度

月 日	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	担当
	12, 19, 26	4, 10, 17, 24	7, 14, 21, 28	5, 12, 19	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 15, 22, 29	6, 13, 20	10, 17, 24, 31	7, 14, 21, 28	7, 14, 21	
A 安全的活動	町別児童会 集団下校 4/6 (12日のふりかえ)	避難訓練 集団下校 5/18 (17日のふりかえ)	避難訓練 集団下校 6/15 (14日のふりかえ)		交通安全 指導 9/27	避難訓練 集団下校 10/26	避難訓練 集団下校 11/30			避難訓練 集団下校 2/22		安全関係
B 勤労生産的活動	← 一人一鉢運動 →											
C 芸術的文化的活動		万古陶芸 製作 5/24, 31 (ふりかえ) (園工)	七夕まつり 6/28 7/5 かざり作り 集会 (児童会)		石ひろい 蹴籠練習 9/13 (20)		音楽集会 11/1 (藤田・安藤)	学校を美しくしよう 12/8 (落ち葉拾い)		大かると大会 1/10, 17 かるた作り 1/24(高) 1/25(低) (児童会)		園工みどり
D 体育的活動	4/19, 26 小運動会 5/4 (児童会) まとめて						なわとび集会 11/18 練習 11/22 級認定 (児童会)			マラソン 大会 2/7 (体育部)		体育
E 季節的活動					敬老の日の 作文 (4, 5, 6年) 9/6	本を読もう 読書月間 (図書部)		読書感想文 発表会 12/6 (図書部)				図書部
F その他										クラブ発表 会 2/28 (市川ジ)	卒業生を 送る会 3/8 (5年生 担当)	クラブ 担当 5年班
備考		5/10 創立記念日 5/13~17 家庭訪問	6/6 (低) 6/14 (高) 授業参観 6/21 観劇会			10/25 緑の学校	11/15 学級指導		1/31 学級指導	2/14 学級指導		



P

- ・ 須藤 啓一
- ・ 岩田 和夫
- ・ 藤井久美子
- ・ 森 一孝
- ・ 人見 直広
- ・ 森 新英

・ 山川みさ代 (給食)

敬称略

功労者紹介

羽津小学校PTA活動に永年、御力添、努力御指導いただきました方々に総会の席上に於て、記念品を贈りました。

昭和六十年年度PTA総会が、四月二十日(土)に行われました。出席者二百五十名、委任者百八十名の中、会長、学校長の挨拶に続き、総会次第に基づいて、事業報告、活動方針等慎重に検討され無事終了しました。

PTA総会報告